

令和8年1月分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和8年1月分について、輸出額は「自動車」などが減少したものの、「重電機器」「半導体等電子部品」などが増加したことから、対前年同月比3.7%の増加となった。また、輸入額は「原粗油」などが増加したものの、「液化天然ガス」「石油製品」などが減少したことから、同4.8%の減少となった。
その結果、差引額は4,878億円（同19.4%の増加）となった。

名古屋港における差引額は、平成23年6月以降**176ヵ月（14年8ヵ月）連続 全国港別（空港含む）第1位**

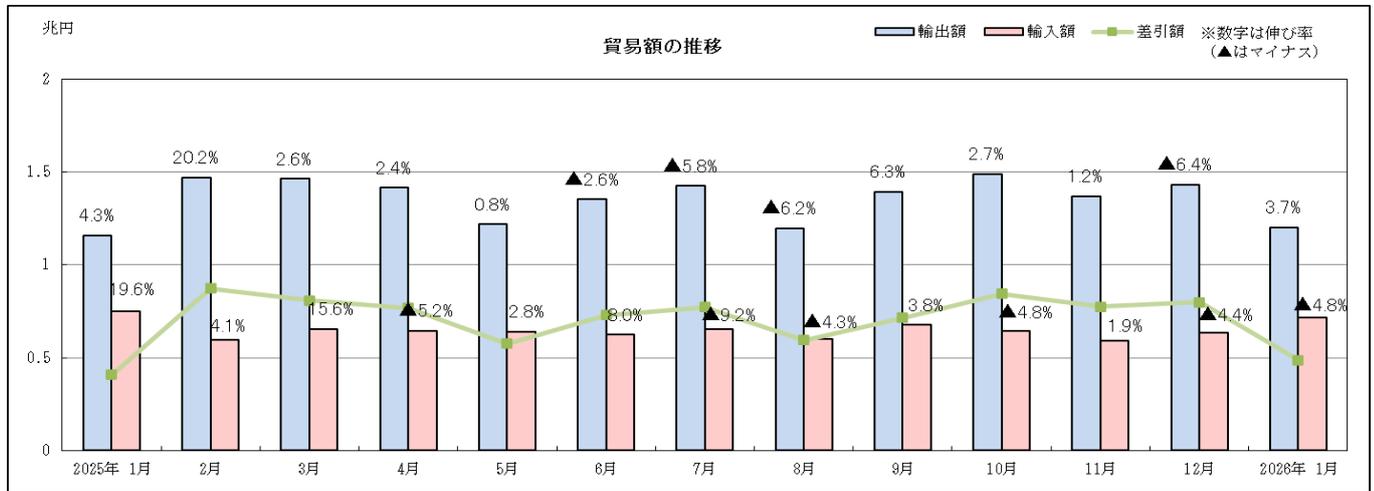
注）本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同月比による。

○総額

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額	伸率
名古屋港	1兆2,016億円	+3.7%	7,138億円	▲4.8%	4,878億円	+19.4%
	2ヵ月ぶりの増加		2ヵ月連続の減少		2ヵ月ぶりの増加	
	順位 過去 37 位	1 月として 1 位	順位 過去 3 位	1 月として 2 位	順位 過去 152 位	1 月として 2 位
管内（名港シェア）	1兆9,054億円（63.1%）		1兆2,817億円（55.7%）		6,238億円（—）	
全国（名港シェア）	9兆1,875億円（13.1%）		10兆3,401億円（6.9%）		▲1兆1,527億円（—）	

○主な増減品目

	概況	品名	金額	伸率	寄与度	増減
輸出	増	(1) 重電機器	442億円	+18.8%	+0.6	3ヵ月ぶりの増加
	加	(2) 半導体等電子部品	247億円	+35.2%	+0.6	16ヵ月連続の増加
	減	(1) 自動車	3,355億円	▲19.5%	▲7.0	3ヵ月連続の減少
輸入	増	(1) 原粗油	544億円	+15.4%	+1.0	7ヵ月ぶりの増加
	減	(1) 液化天然ガス	411億円	▲38.6%	▲3.4	2ヵ月ぶりの減少
	少	(2) 石油製品	95億円	▲40.4%	▲0.9	2ヵ月連続の減少



※名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の蔵置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。

名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諏訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。